

年 組 名前：

無病息災願い 大わらじ奉納

山梨・牧丘



大わらじを奉納する地域住民
＝山梨市牧丘町集

山梨市牧丘町集で15日、無病息災を祈願する伝統の大わらじ作りが行われ、地域住民が作った大わらじを国道140号沿いの摩利支天尊に奉納した。
春の社日に合わせて行う恒例行事で、同所の道赤土地区の住民11人が午前8時から作業を始めた。昨年奉納したわらじを解体した後、約6時間かけて稲わらを編み込み、縦3・5拵、横幅1・5拵の大わらじを完成させた。1年間

の無病息災や五穀豊穡などを祈り、ほこら横の桜の木につるした。
大わらじ作りに参加した松井良浩さん(53)は「地域を守る大切な大わらじ。今後も続けていけたら」と話した。

大わらじの奉納は、江戸時代に疫病が流行した際、村人を救った旅の僧が置き忘れたわらじを奉納したのが始まりといわれ、市の無形民俗文化財に指定されている。
〈穴山菜津美〉

問1

大わらじは、どこに奉納されていますか。

.....市の.....
.....国道.....号線沿い

(2024年3月16日付 山梨日日新聞20面)

問2 次の文章の①から④に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『作業は、昨年さきねんのわらじを解体かいたいした後、約①時間かけて稲わらを編み込み、縦②メートル、横幅③メートルの大わらじを完成させ、ほこら横の④につるした』

①..... ②..... ③..... ④.....

問3 大わらじの奉納は、どのようなことから始まりましたか。

.....